

出張報告書

令和 5 年 11 月 22 日

市議会議長 様

会 派 名 大阪維新の会

代表者氏名 藤原 豊和

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 防災と議員の役割についての研修
- 2 出 張 先 全国市町村国際文化研修所
- 3 出張期間 令和 5 年 11 月 20 日～令和 5 年 11 月 21 日
- 4 出張者氏名 中岡 佐織
- 5 てん末報告 別紙のとおり

令和5年度 市町村議会議員研修レポート

委員氏名 中岡 佐織

研修先	全国市町村国際文化研修所	テーマ	防災と議員の役割
日時	11月20日(月) ~ 11月21日(火)		
<p>『規模地震災害の予測と対応策』（東京大学 平田直名誉教授）</p> <p>◇地震発生時期等の確度の高い予測は困難であり、完全に安全な防災対応を実施することは現実に困難であることを踏まえ、地震発生可能性と防災対応「より安全な防災行動を選択」する重要性。</p> <p>日常生活等への影響を減らし、より安全性を高めるためには、平時から突発地震に備えた事前対策を進めることが重要。</p>			
<p>『平時の防災と議員の役割』（跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 鍵屋一教授）</p> <p>◇レジリエンス4要素を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none">・正常化の偏見（正常性バイアス）を排し科学的に予測する・危機を予防する力「被害抑止」と「対応準備」・危機に対応する力「発生する被害に対応し最小限に収める」・大災害時には更に危機から回復する力（元の同じ形に戻さなくてもより良い形へ向かえば良い） <p>◇災害の直接死より災害によっては上回ることもある災害関連死（災害後の避難生活の困難さで心身状況が急激に悪化するなどして死亡すること）を減らす予防策が必要。</p>			
<p>『災害時における議会の対応と取組』（熊本県人吉市議会徳川禎郁議員）</p> <p>◇生々しい被災体験とその後の議員としての地域への対応談。多くの地域の方々と共に過ごしその生の声を議会へ持ち帰り対応策を実施するかの重要性。</p>			
<p>『災害時、復旧・復興期の議員の役割』（跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 鍵屋一教授）</p> <p>◇議会のサイレントタイムと再開</p> <ul style="list-style-type: none">・災害対策本部が応急対策を実施中は議会活動を休止。・執行機関が議会資料を作成し、説明が物理的に可能になる時期以降			

に再開を。

- ・短時間で提案型質疑を

◇災害時の議員のすべきこと

- ・情報収集や提供
- ・地域支援活動
- ・国等関係機関への要望
- ・視察の受け入れ
- ・個別の要請は避け地域情報は議会に集約

◇災害時議員がしてはいけないこと

- ・行政職員への威嚇
- ・支援者への利益誘導
- ・行政批判
- ・他議員の活動批判

※議員は影響力が大きく、議員による行政批判はマスコミ同様に行政と住民を分断することもある。

◇要望活動

自治体職員が時間をかけて手続きを踏むよりも、議会・議員が政治力を活かして国や関係機関に要望し早期に対策を実施させる。